

第 16 回議会力向上会議記録（抄）

（26. 1. 20）

一、協議事項について

正副座長より、次の事項に関し意見聴取を行い、協議の結果、下記のとおりとなった（別紙資料参照）。

1. 平成25年11月定例会で試行した議事運営の検証について

①議案質疑について

本件について、各会派等の意見を集約した結果、議案質疑を分けることでよりわかりやすい議論となる等の意見で一致し、5月及び11月定例会においては、議案質疑と一般質問の場を区別して設けることを確認した。

次に、5月及び11月定例会の大綱質疑の日数を4日間とすることについて協議した。

【各会派等より出された主な意見】

公明党 堺市議会議員団	議員としての力量が必要であるが、質疑項目の重複や理事者側が同じ答弁を繰り返しているような場合は、その質疑部分を省略する等それぞれの議員で努力することが必要であり、それが議論を深めることにもなるのではないか。
ソレイユ堺	まずは、議会運営委員会での大綱質疑・質疑者の質疑予定時間を正確に通告すべきではないか。3日間で調整できるのであれば3日間が良い。
日本共産党 堺市議会議員団	大綱質疑3日間の日程では会議時間を大幅に超過することになっているのが現状である。4日間とすると、よりゆとりをもった質疑ができるのではないか。少なくとも、議案質疑のある議会では、予備日を設けてもよいのではないか。
田中 丈悦議員	質疑予定時間を精査し、3日間での実施が困難な状況であれば、4日間にする、または予備日を設定する等、その時々で判断してはどうか。

【協議結果】

引き続き、3日間で実施することとし、日数の追加については、問題が生じた際にあらためて検討することとなった。また、前回の大綱質疑の質疑時間が超過したことを踏まえ、①質疑内容の重複を避けるよう各議員が配慮すること、②大綱質疑の質疑時間の通告は、できる限り正確な質疑時間を通告できるよう精査しておくこと、③議案質疑の際は、一般質問と混同した質疑とならないよう注意すること、④本会議での質問と委員会での質問のあり方について留意することを各会派等において確認することとした。

②委員間討議について【議会基本条例第13条】

【協議結果】

引き続き、2月定例会において試行することを確認した。

2. 請願・陳情者の意見陳述について

①陳述者が委員会において、「住所」を述べることについて

現行の申し合わせにおいて、陳述者は住所、(団体名)、氏名を述べることとなってい

ることについて、個人情報等の観点も含め、今後の取り扱いについて協議した。

【各会派等より出された主な意見】

公明党 堺市議会議員団	請願・陳情書に記載されていることから、当面は現状維持でよいのではないか。また、住所だけでなく氏名の扱いや特段の事情のある方の範囲等の明確化の検討がさらに必要ではないか。
大阪維新の会 堺市議会議員団	公の場で意見陳述する限り、原則として住所を明らかにすべきだが、本人が明らかにできない特別の事情があると申し出るのであれば、区名に止めてよいのではないか。
ソレイユ堺	団体の場合、住所を明らかにし、個人の場合、区名に止めてもよいのではないか。
自由民主党 ・市民クラブ	請願・陳情書に記載されていることから、区名に止めてもよいのではないか。
日本共産党 堺市議会議員団	請願・陳情書に住所、団体名、氏名が記載されていることから、特に住所の発言は求めなくてよく、氏名のみ述べればよいのではないか。
田中 丈悦議員	時間の短縮が図れること、インターネット中継により動画配信されることを配慮し、区名に止めてもよいのではないか。

【協議結果】

この議論を踏まえ、意見陳述において述べる陳述者の個人情報の範囲や特段の事情がある場合に住所省略を認める扱いとするか、区名に止める扱いとするか等各会派等での意向をまとめていただき、引き続き検討していくこととした。

3. 議会報告会の検証について

これまでの議会報告会の検証を行い、今後のあり方について協議した。

【各会派等より出された主な意見】

公明党 堺市議会議員団	子育て等特定のテーマで実施し、そのテーマに係る参加対象者にしてはどうか。年2回実施するとした場合、1回を本会議場で現行方式で行い、もう1回は前述のようなバリエーションのある方式としてはどうか。また、周知方法も含めて、新たな参加者をいかに増やしていくかの工夫を検討すべきであり、加えて、交通費の保障も検討し、公聴会的な運用も考えてよいのではないか。区選出議員だけで区において実施することは、議会としての報告会と言えないのではないか。
大阪維新の会 堺市議会議員団	年2回実施するとして、特定テーマでの実施と各区での実施を組み合わせるかどうか。前回のアンケート結果からも、本会議場に近い堺区、北区の参加者が多いことから、距離も関係しているものと考えられ、7区での実施は参加者増につながる。また、その際には選出区の議員だけを出席議員とするのではなく、期数、会派等を勘案し、出席議員を決定すべきである。
ソレイユ堺	日時、会場、広報手段等課題は多い。多くの人が集まる場所で開催する等の工夫をこれから検討していくべきではないか。
自由民主党 ・市民クラブ	より身近な区単位で実施するのがよいのではないか。

日本共産党 堺市議会議員団	現在まで試行も含め、3回実施してきたが、引き続き、本会議場で実施し、広報を強化してはどうか。
田中 丈悦議員	参加者が固定化されつつある。今後は各区でも実施し、本会議場実施の場合と組み合わせながら実施してはどうか。

【協議結果】

本件については、参加者の固定化等検討課題が多くあることから、各会派等において、改善の方法等を検討することとし、今後の議会力向上会議において、あらためて次回の議会報告会について協議することとなった。

4. その他

前回の議会力向上会議において、池田議員より提案のあった議会広報紙（市議会だより）の充実について、その要否を判断する必要があることから、今後、十分な時間をとって議論していくこととした。

さらに、池田議員より、本会議及び委員会におけるスクリーンでの資料映写について、インターネット中継の配信対象として検討してはどうかとの意見があった。本件について、本会議においては、議場内スクリーンの使用等に関する取扱基準（平成23年2月議会運営委員会にて決定）によりインターネット中継の映像として表示しないこととなっていることから、今後、慎重な協議が必要であることを確認した。

5. 第17回議会力向上会議の開催日時について

本件については、平成26年3月28日（金）午後1時から開催することとした。